

リユース促進に関する住民意識調査の結果(概要)

1. 住民意識調査の実施概要

1.1 調査目的

市町村ごみリユース事例調査に協力いただいている4市において、粗大（大型）ごみの排出者やリユース品の購入者等に対し、リユース品の利用実態や意向、各市のリユースの取組や拡大策等に関する意見・意向を把握することを目的にアンケート調査を実施した。

1.2 調査方法

対象地域において、リユース品の販売・譲渡を行っている施設の利用者、粗大（大型）ごみ排出者を対象に実施した。対面にて調査票を手渡し、その場で回答いただけた場合には回収箱への提出等で回収、持ち帰り回答いただいた場合には郵送にて回収した。また、熊本市においては、粗大（大型）ごみ排出者を対象とした郵送アンケートも実施している。

各市での調査方法の概要は図表1の通りである。なお、現時点でも継続して実施中の調査もあり、本資料では1月31日時点で回収できたものを対象に集計している。

図表 1 住民意識調査の方法（概要）

(1) 市川市
期 間：平成22年12月上旬～平成23年2月上旬
調査方法：市川市リサイクルプラザにて、リユース品の購入者・来場者へ配布、その場で回収
回 収 数：235件
(2) 町田市
期 間：平成22年12月上旬～平成23年2月上旬
調査方法：町田市リサイクル公社にて、リユース品の購入者へ配布、その場または郵送で回収
回 収 数：337件
(3) 真庭市
-1) リサイクルプラザまにわ
期 間：平成22年12月上旬～平成23年1月中旬
配布方法：リサイクルプラザまにわにて、リユース品の購入者へ配布、その場で回収
回 収 数：103件
-2) リユースプラザ醍醐の里
期 間：平成22年12月上旬～平成22年1月末
配布方法：リユースプラザ醍醐の里にて、調査票を設置、来場者が記入し、回収ボックスまたは郵送で回収（通常無人のため、調査票は施設内に設置）
回 収 数：16件
(4) 熊本市
期 間：平成23年1月中旬～実施中
調査方法：①熊本市リサイクル情報プラザにて、来場者へ配布、その場で回収
②大型ごみの排出依頼者（電話依頼時）に承諾を得て、調査票を郵送、郵送で回収
回 収 数：①100件
②実施中

1.3 主な調査項目

調査票の設問例を図表 2に示す。対象地域ごとに取組み内容に違いがあるため、各地域の実態に合わせた設問を行っている。

主な設問内容は、利用実態、リユース品購入による環境意識の変化、市が実施するリユースの取組みへの評価・要望などとなっている。

図表 2 アンケート設問 (例)

○リユースの取組みへの認知状況
○施設の利用の頻度
○購入した理由
○リユース品購入を通しての環境意識の変化
○現状のリユースの取組みへの評価
○今後の購入意向
○現状でのリユースの取組みの改善点
○拡大方策として、民間事業者との連携の是非 / など

2. アンケート結果の概要

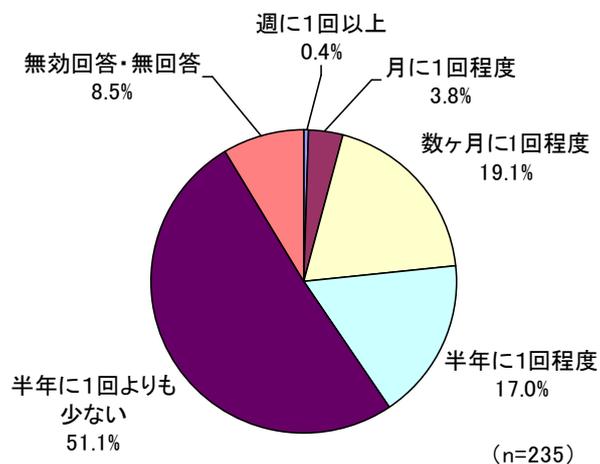
2.1 市川市

(1) 利用実態

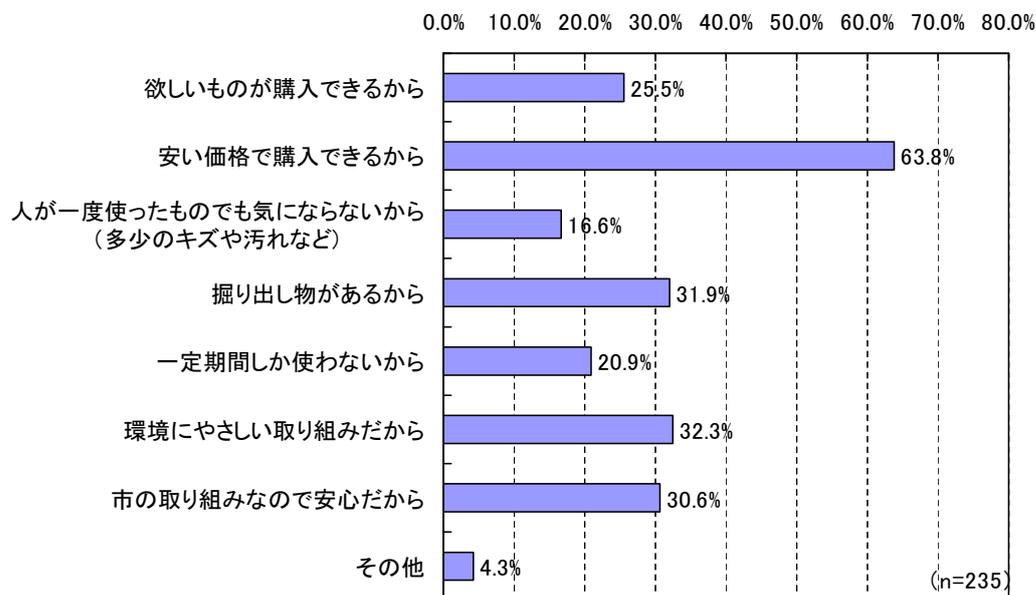
市川市リサイクルプラザでの購入頻度については、「半年に1回よりも少ない」との回答が51.1%(120件)と最も多く、次いで「数ヶ月に1回程度」(19.1%)、「半年に1回程度」(17.0%)と続く。「週に1回以上」と「月に1回程度」は合わせて4%程度(10件)となっている。(図表 3)。

購入理由については、「安い価格で購入できるから」が63.8%(150件)と最も多い。「環境にやさしい取り組みだから」や「市の取り組みなので安心だから」もそれぞれ30%以上(76件、72件)であった(図表 4)。

図表 3 市川市リサイクルプラザでの購入頻度 (市川市)



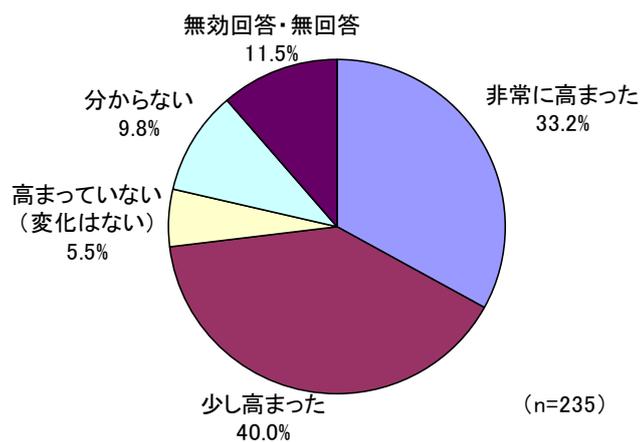
図表 4 市川市リサイクルプラザでの購入理由（市川市）



(2) 環境意識の変化

リユース品の購入を通して環境意識の変化については、「非常に高まった」「少し高まった」の合計が70%を超え（それぞれ33.2%（78件）、40.0%（94件））、「高まっていない（変化はない）」との回答は5.5%であった（図表5）。

図表 5 リユース品購入を通しての環境意識の変化（市川市）

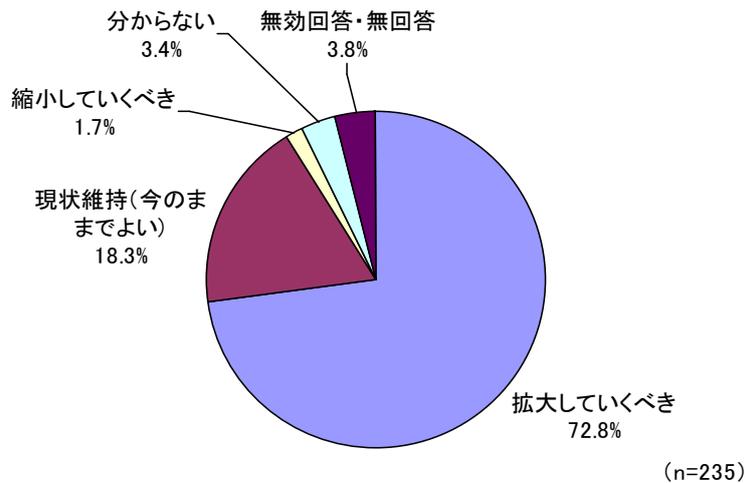


(3) 取り組みへの評価と意見

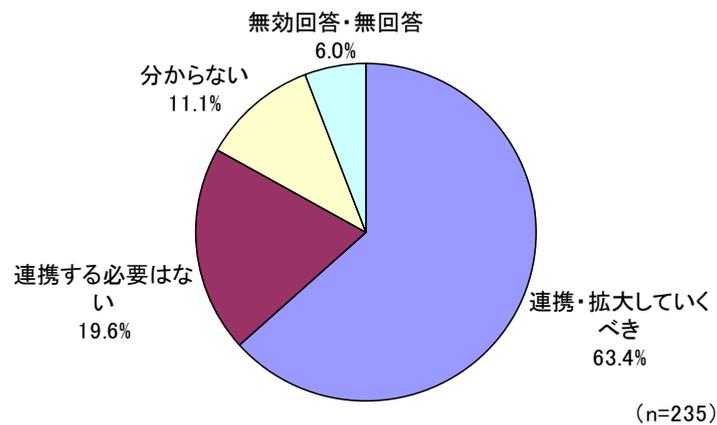
今後の取り組みについては「拡大していくべき」との回答が 72.8% (171 件) と最も多く「縮小していくべき」との回答は 1.7% (4 件) であった (図表 6)。

拡大方策として民間事業者との連携については、「連携・拡大していくべき」との回答が 63.4% (149 件) と最も多く、「連携する必要はない」との回答は 19.6% (46 件) であった (図表 7)。

図表 6 今後の取り組みへの意見 (市川市)



図表 7 民間事業者との連携への意見 (市川市)



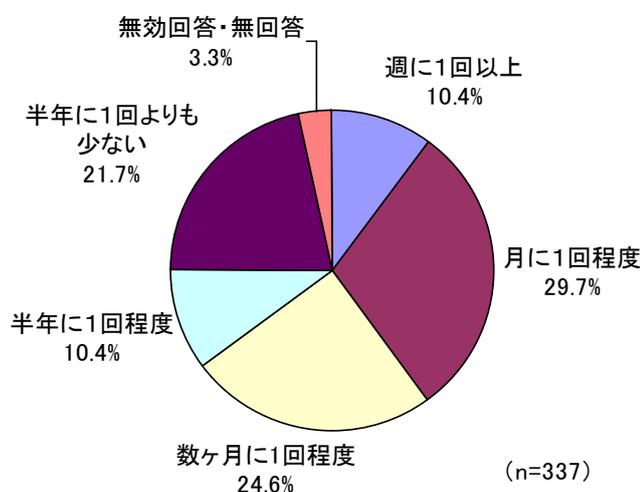
2.2 町田市

(1) 利用実態

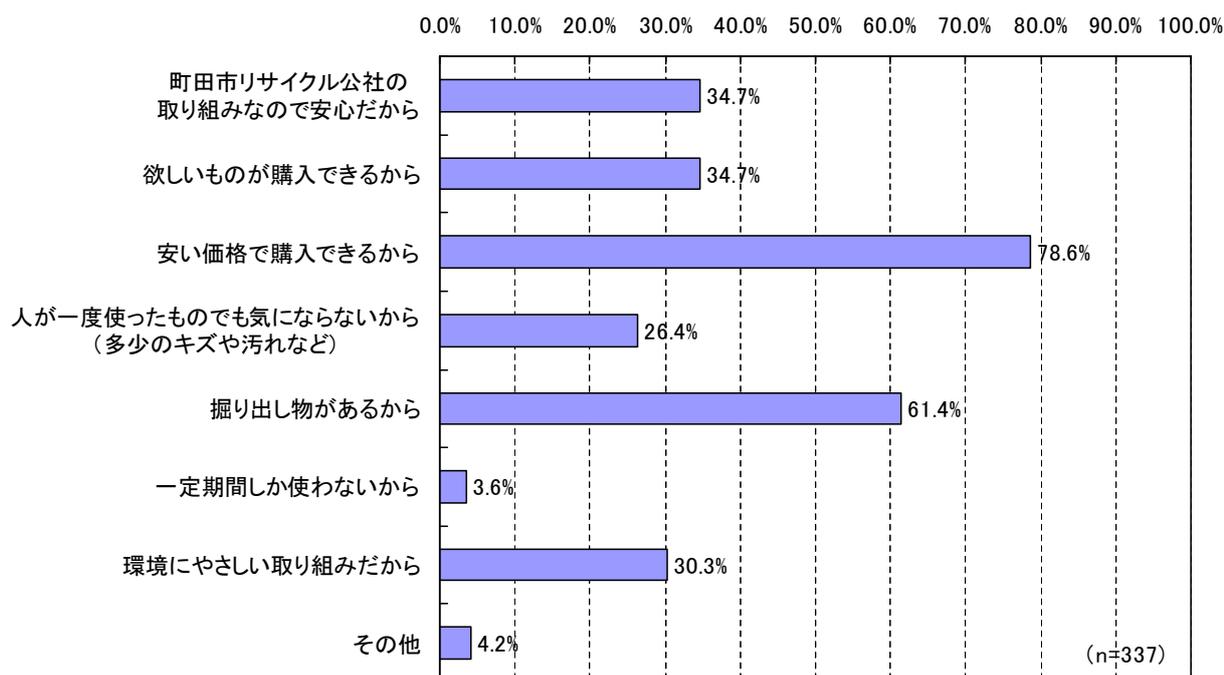
町田市リサイクル公社での購入頻度については、「月に1回程度」との回答が 29.7%（100 件）と最も多く、「数ヶ月に1回程度」との回答が 24.6%（83 件）と続く。ただし、どの回答も 10%以上の割合となっており、頻繁に利用する市民から滅多に利用しない市民まで幅広く利用されているといえる（図表 8）。

購入理由については、「安い価格で購入できるから」が 78.6%（265 件）と最も多く、「掘り出し物があるから」が 61.4%（207 件）と続く（図表 9）。

図表 8 町田市リサイクル公社での購入頻度（町田市）



図表 9 町田市リサイクル公社での購入理由（町田市）

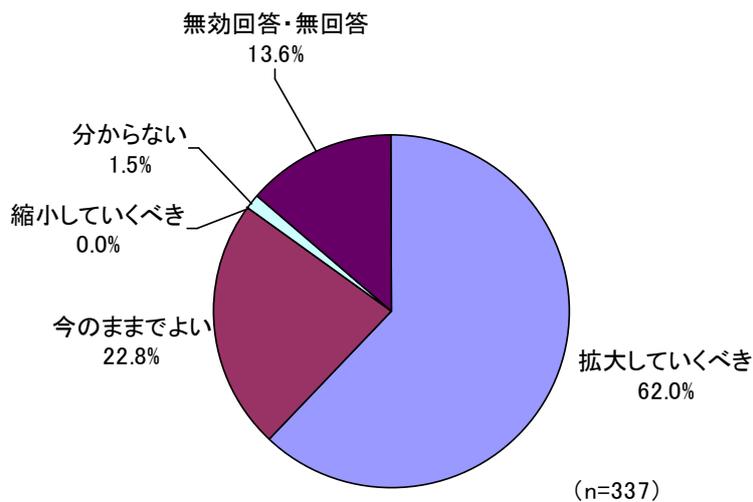


(2) 取り組みへの評価と意見

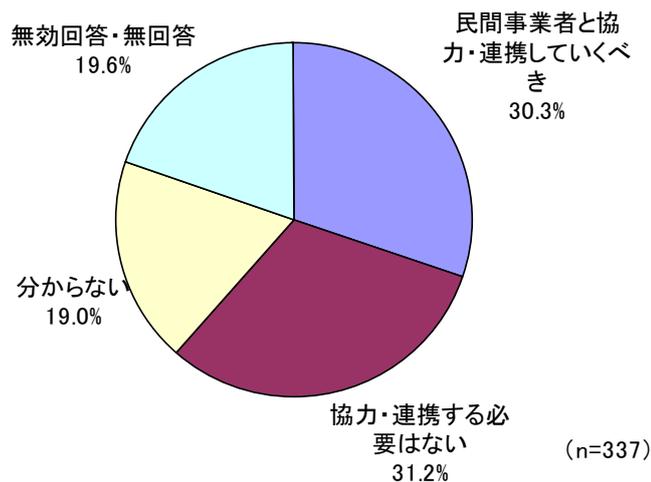
今後の取り組みについて「拡大していくべき」との回答が 62.0% (209 件) と最も多く (図表 10)、「縮小していくべき」との回答はなかった。

拡大方策として民間事業者との連携については、「協力・連携する必要はない」が 31.2% (105 件) と最も多く、「民間事業者と協力・連携していくべき」の 30.3% (102 件) を上回っている (図表 11)。

図表 10 今後の取り組みへの意見 (町田市)



図表 11 民間事業者との連携への意見 (町田市)



2.3 真庭市

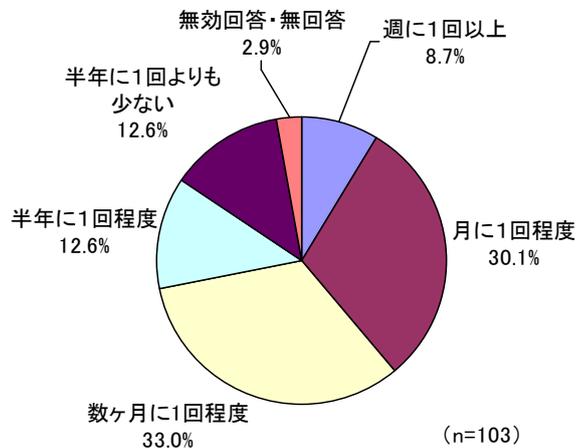
2.3.1 リサイクルプラザまにわ

(1) 利用実態

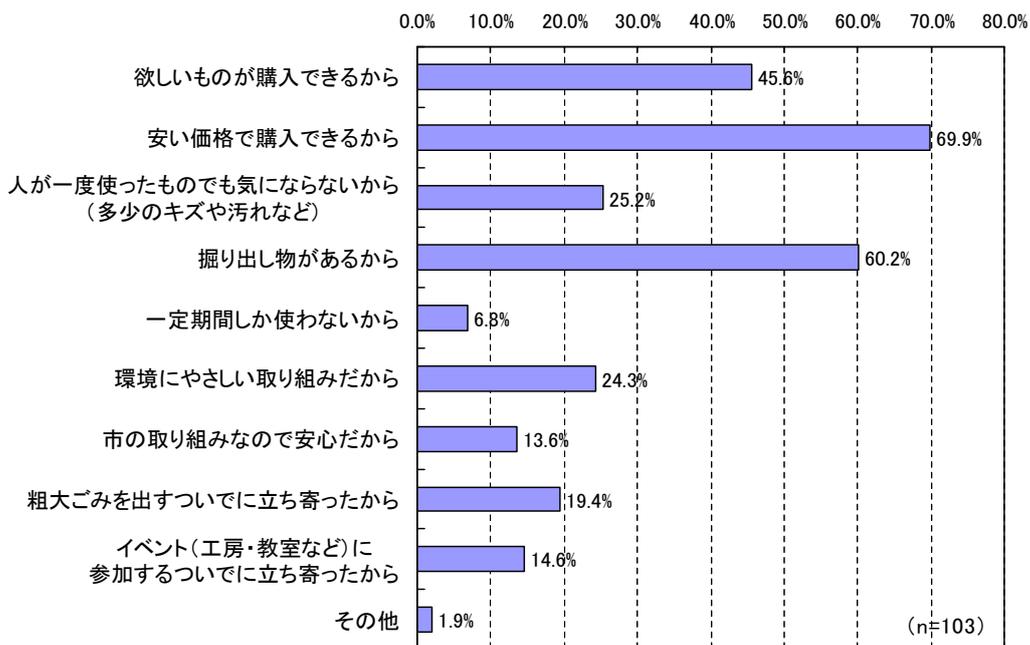
リサイクルプラザまにわでの購入頻度については、「数ヶ月に1回程度」が33.0%（34件）と最も多いが、どの回答も一定数の回答があり、頻繁に利用する市民から減多に利用しない市民まで幅広く利用されているといえる（図表12）。

リサイクルプラザでの購入理由（複数回答可）については、「安い価格で購入できるから」が69.9%（72件）と最も多く、次いで「掘り出し物があるから」が60.2%（62件）、「欲しいものが購入できるから」が45.6%（47件）と続く（図表13）。

図表12 リサイクルプラザでの購入頻度（真庭市・リサイクルプラザまにわ）



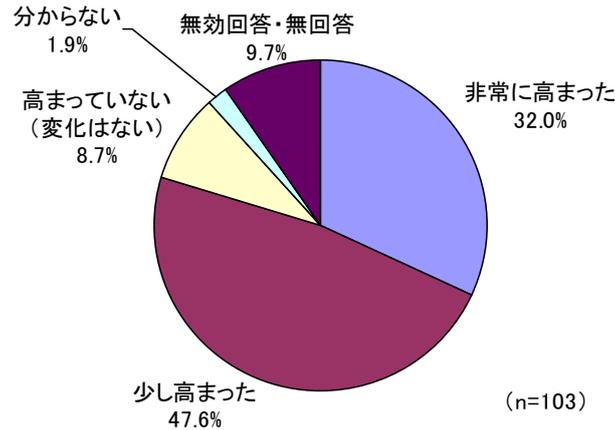
図表13 リサイクルプラザでの購入理由（真庭市・リサイクルプラザまにわ）



(2) 環境意識の変化

リユース品購入を通しての環境意識の変化については、「非常に高まった」と「少し高まった」の合計が80%近く（それぞれ、32.0%（33件）、47.6%（49件））、「高まっていない（変化はない）」との回答は8.7%（9件）であった（図表14）。

図表 14 リユース品購入を通しての環境意識の変化（真庭市・リサイクルプラザまにわ）

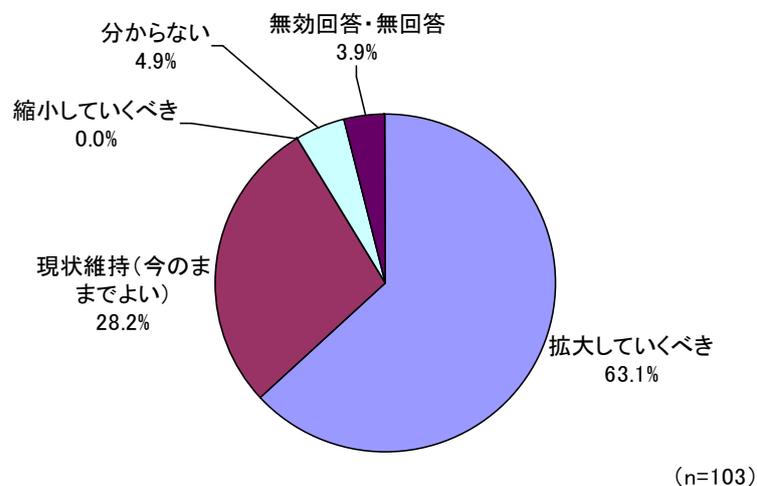


(3) 取り組みへの評価と意見

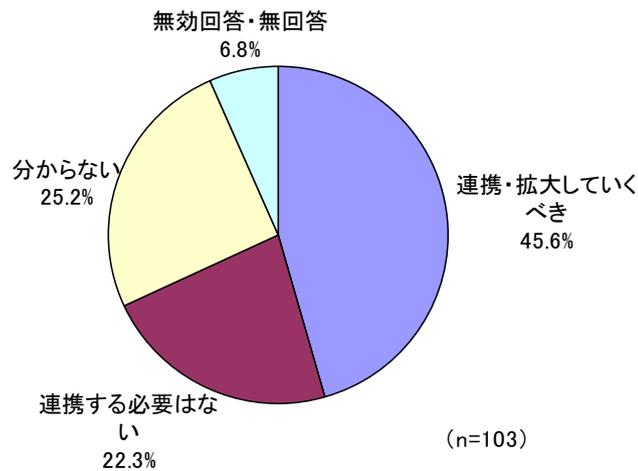
今後の取り組みについては、「拡大していくべき」が63.1%（65件）と最も多く、「縮小していくべき」との回答はなかった（図表15）。

拡大方策として民間のリユース事業者との連携への意見については、「連携・拡大していくべき」が45.6%（47件）と最も多いが、「連携する必要はない」との回答も22.3%（23件）と一定数ある（図表16）。

図表 15 今後の取り組みへの意見（真庭市・リサイクルプラザまにわ）



図表 16 民間事業者との連携への意見（真庭市・リサイクルプラザまにわ）



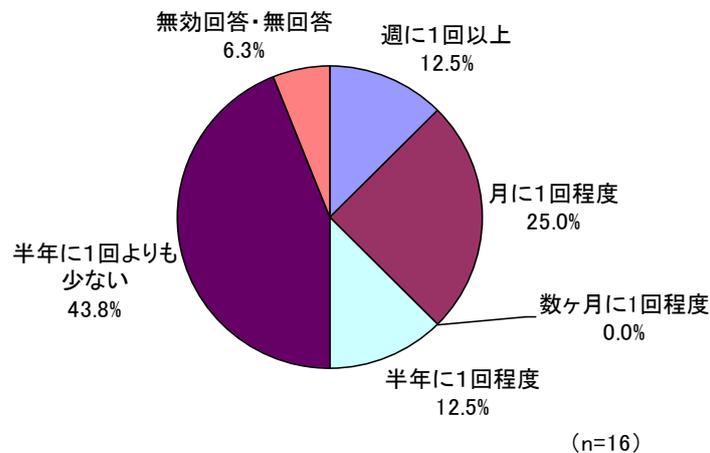
2.3.2 リユースプラザ醍醐の里

(1) 利用実態

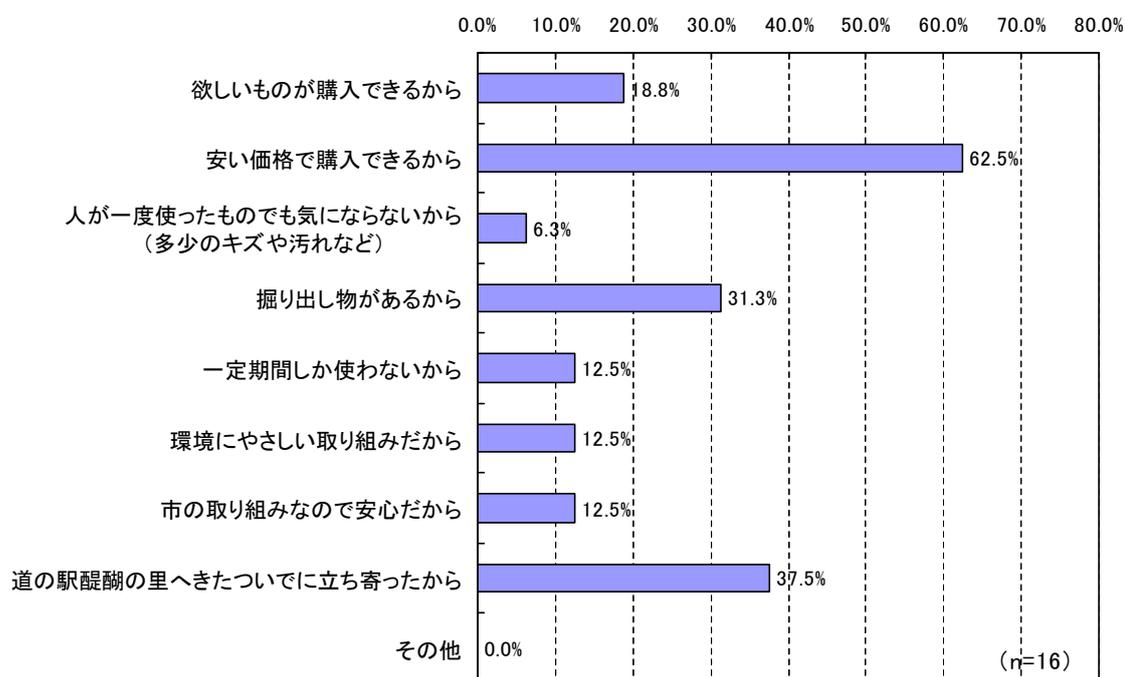
リユースプラザ醍醐の里での購入頻度については、「半年に1回よりも少ない」が43.8%（7件）と最も多いが、回答は幅広く分布しており、頻繁に利用する市民から滅多に利用しない市民まで幅広く利用されているといえる（図表 17）。

リユースプラザ醍醐の里での購入理由（複数回答可）については、「安い価格で購入できるから」が62.5%（10件）と最も多く、次いで「道の駅醍醐の里へきたついでに立ち寄ったから」が37.5%（6件）、「掘り出し物があるから」が31.3%（5件）と続く（図表 18）。

図表 17 リユースプラザ醍醐の里での購入頻度（真庭市・リユースプラザ醍醐の里）



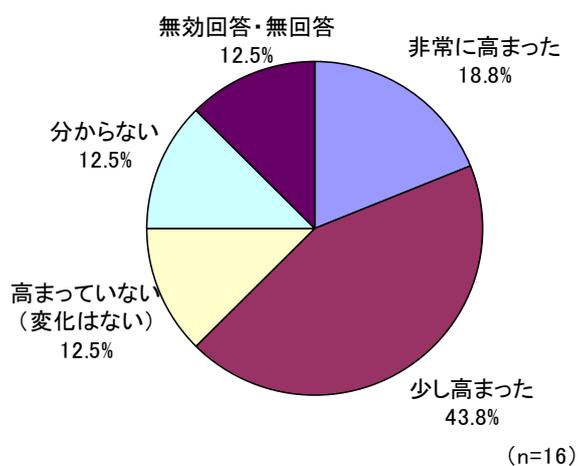
図表 18 リユースプラザ醍醐の里での購入理由（真庭市・リユースプラザ醍醐の里）



(2) 環境意識の変化

リユース品購入を通しての環境意識の変化については、「非常に高まった」と「少し高まった」の合計が60%以上（それぞれ18.8%（3件）、43.8%（7件））、「高まっていない（変化はない）」との回答は12.5%（2件）であった（図表 19）。

図表 19 リユース品購入を通しての環境意識の変化（真庭市・リユースプラザ醍醐の里）

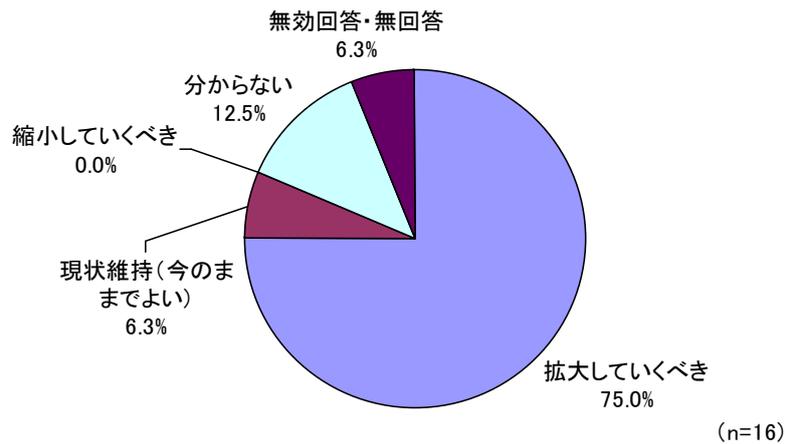


(3) 取り組みへの評価と意見

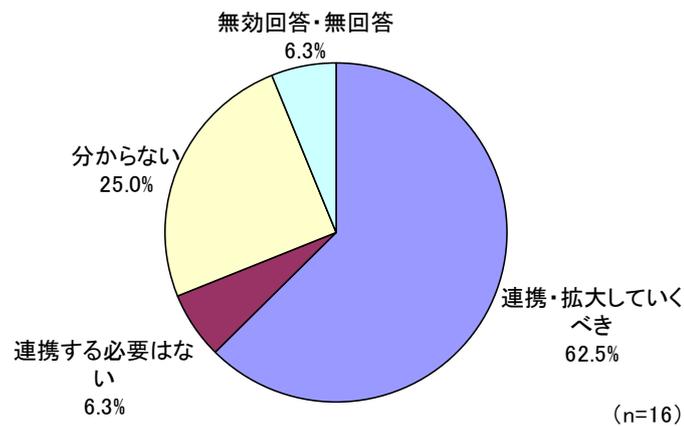
今後の取り組みについては、「拡大していくべき」が 75.0%（12 件）と最も多く、「縮小していくべき」との回答はなかった（図表 20）。

民間のリユース事業者との連携への意見については、「連携・拡大していくべき」が 62.5%（10 件）と最も多く、「連携する必要はない」との回答は 6.3%（1 件）であった（図表 21）。

図表 20 今後の取り組みへの意見（真庭市・リユースプラザ醍醐の里）



図表 21 民間事業者との連携への意見（真庭市・リユースプラザ醍醐の里）



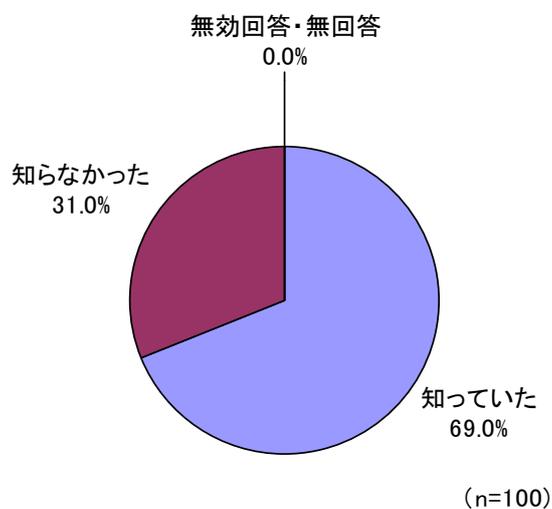
2.4 熊本市

(1) 利用実態

熊本市リサイクル情報プラザでは、市民から不用品を引き取り、希望する市民にすべて無償で提供している。

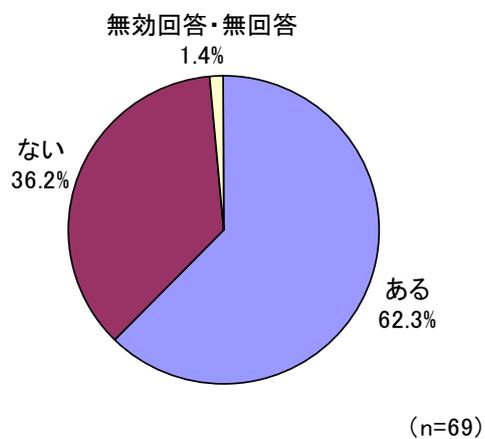
リサイクル情報プラザにてリユースの取り組みが行われていることに対する認知度については、「知っていた」が75.0%（75件）、「知らなかった」が31.0%（31件）となっている。

図表 22 熊本市のリユースの取り組みに対する認知度（熊本市）



また、「知っていた」と回答した人のうち、実際に譲り受け・譲り渡しの利用した経験の有無について、「ある」が62.3%（43件）、「ない」が36.2%（25件）となっている。

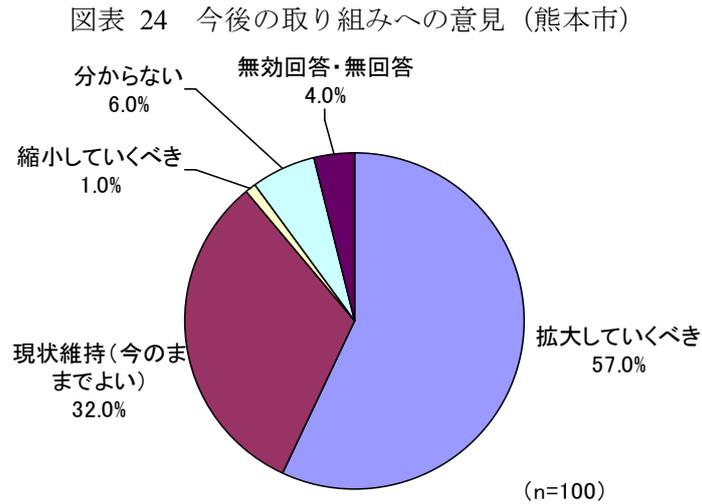
図表 23 熊本市リサイクルプラザの利用経験（熊本市）



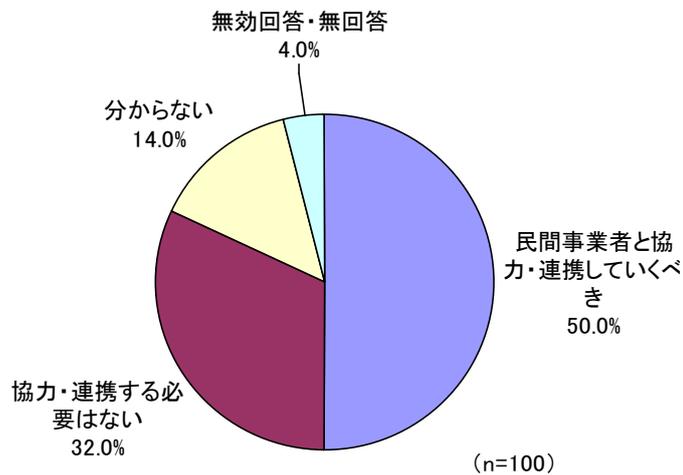
(2) 取り組みへの評価と意見

今後の取り組みについて、「拡大していくべき」が57.0%（57件）と最も多く、次いで「現状維持（今のままでよい）」との回答が32.0%（32件）となっている（図表24）。

民間のリユース事業者との連携については、「民間事業者と協力・連携していくべき」が50.0%（50件）と最も多く、「協力・連携する必要はない」との回答は32.0%（32件）であった（図表25）。



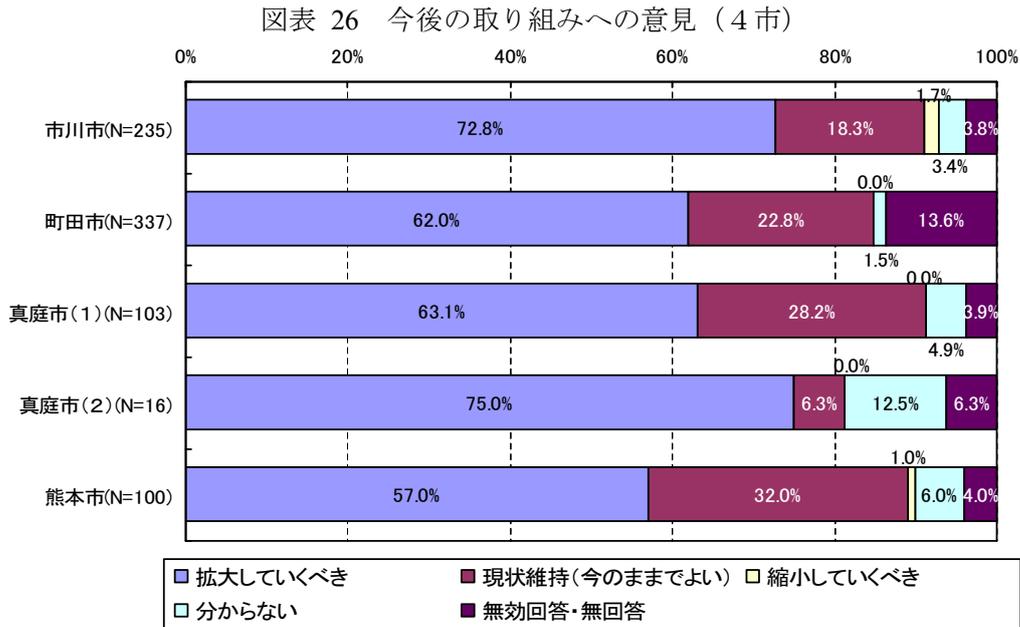
図表 25 民間事業者との連携への意見（熊本市）



3. アンケート結果整理

(1) 今後の取り組みへの意見

今後の取り組みに対する要望について、いずれの市でも「拡大していくべき」との回答が多く、回答の割合は各市で異なるが、6～7割程度を占めている。「縮小していくべき」との回答は、いずれの市でも少なく、2%以下（0.0%～1.7%）であった。



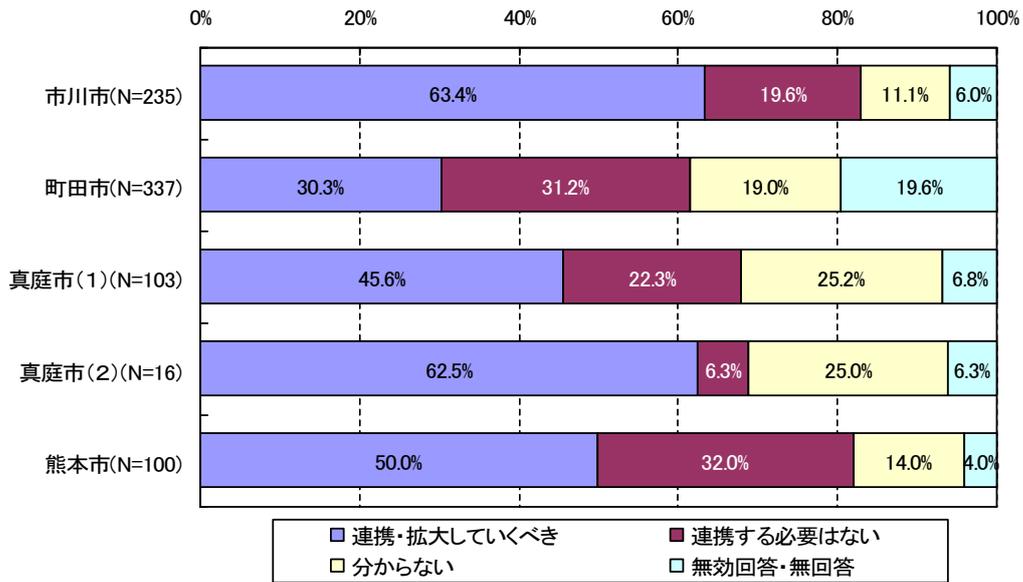
※真庭市（1）は「リサイクルプラザまにわ」、（2）は「リユースプラザ醍醐の里」での回答
 ※各市での調査方法（手渡しの有無、その際の補足説明の有無など）は異なるため、留意が必要。

(2) 民間事業者との連携について

民間事業者との連携について、町田市を除き、「連携・拡大していくべき」との回答が最も多くなっている。各市においてその割合は異なるが、4～6割程度を占めている。「連携していく必要はない」との回答は、熊本市で他市と比較して多く32.0%となっている。

町田市では「連携する必要はない」(32.2%)が最も多く、「連携・拡大していくべき」との回答は30.2%となっている。

図表 27 民間事業者との連携について（4市）



※真庭市（1）は「リサイクルプラザまにわ」、（2）は「リユースプラザ醍醐の里」での回答

※各市での調査方法（手渡しの有無、その際の補足説明の有無など）は異なるため、留意が必要。

(以上)